

2024年度 北見麻高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕〔数学Ⅰ〕	1年	4単位	教科書	最新 数学Ⅰ(数研出版)	副教材等	3 TRIAL 数学Ⅰ(数研出版)	履修対象・ 使用教室 等	総合コース(必修)・各HR教室
教科・ 科目の 目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
評価の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		「節」ごとに実施なので計9回実施予定			100	100		
	授業態度・自主課題の提出		問題演習やレポート課題の取り組み状況、3 TRIALの自主的な演習					100	
	〔観点別配分%〕		〔3観点の比重を%で示しています〕						
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5	中学校の内容の確認 第1章 数と式	24	第1節 数と式 多項式、展開、因数分解 第2節 実数 実数、根号「ルート」			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
6 7	第1章 数と式 第3章 2次関数	24	第1章 数と式 第3節 1次不等式 不等式、連立不等式 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフ			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
8 9	第3章 2次関数	25	第1節 2次関数とグラフ 平行移動、平方完成、2次関数の決定など 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次不等式			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
10 11	第4章 図形と計量	27	第1節 三角比 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張など 第2節 正弦定理・余弦定理 正弦定理、余弦定理、三角形の面積			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
12 1	第5章 データの分析	20	データの代表値、分散、相関、仮設検定など			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
2 3	第2章 集合と命題 章末問題(総復習) 課題学習	20	集合、部分集合、共通部分、和集合、補集合 命題と集合、命題と証明、背理法など 数学Ⅰの総復習 数学Ⅰで学んだことを活かし、課題解決能力を育む			単元テスト	◎	◎	
						授業態度・自主課題の提出			◎
学習の アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰの基礎基本の定着を徹底します。 ⇒基礎基本の定着(知識・技能)なくしては、応用問題や入試問題(思考力・判断力・表現力)に対応できない。ゆえに、教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・進学希望者は3 TRIALの積極的な取り組みや平日講習である「数学演習Basic」や土曜日講習である「数学演習α」に積極的に参加し、実践演習を積むことを強く勧めます。 ・各クラス、同じ内容の単元テストにて実施し、「A」、「B」、「C」の評価、評定を算出します。単元テストの直し悪し決まりますので、1つ1つの単元テストに本気で臨んでください。 ・数学は積み重ねの教科です。家庭学習の習慣が必須となります。授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。 								